［ 夢と志を育てる学園 ］

玉手山学園 広報

2018.秋号

Vol.88

巻頭　理事長あいさつ

できる（チャレンジする）方法を考える

恩感

建学の精神「感恩」

人は　さまざまな恩恵のもとで　生かされている
この真理に目覚め　感動と感謝から生まれる　豊かな心と情熱をもって
人の幸せを願い　行動するとき　私たちは成長し　社会に貢献できる

～「ありがとう」に出会い　気づき　感動 感謝の行動から
新しい「ありがとう」が 生まれる～

巻頭　理事長あいさつ

できる（チャレンジする）方法を考える

（理由（言い訳）（*“ dekinai , nigeru ”*）を考えていないか）夢を忘れていませんか？（*Remember your dream.*）「若さは宝」

新年度から半年が経過。みなさん、「夢と志」の調子はいかがですか。「できない（逃げる）理由（言い訳）」を考えていませんか。もしそうなら「できる（チャレンジする）方法」を考えましょう。夢を喰う“バク”は…います。でも「夢は逃げない 逃げるのは いつも自分」*Yattemiyou!* の気概を大切に、失敗しても、それは成長につながります。「若さは宝」お忘れなく！

沖縄県人会 新歓コンパ（H30.5）　様々な夢と志あり

まさかのとき 頼れるのは　若者の豊かな心（何かできることはないか）

2018年初夏 大阪北部地震、西日本“激甚”7月豪雨で命を落とされた方々のご冥福を祈り、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。日本は災害の多い国、それでも私たちはこの日本を愛し続けます。学園の周辺地域も、“まさかの時”には多くの方が学園を頼ってこられます。学園が避難所運営をする際に頼りになるのは、若い学生・生徒たちの「自分に何かできることはないか」という豊かな心・エネルギーです。学園は、非常時に備え準備を始めています。それが「***HEART*** *(Helping Evacuees Association & Relief in Tamateyama)*」という企画（*PJ*ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ）です。学生・生徒が***PJ***の重要な構成員です。関心のある方、ぜひお問い合わせ（学園地域連携センター *Tama Square* 横）ください、大歓迎です。

勾玉橋モニュメントを磨いてくれた学生たち（H30.6何かしたい…）

Tama Square 完成（*70th* 寄付金（2012~）が「形」に *For the students*）

2018年6月29日に待望の広場、*Tama Square*がオープンしました。本学園「初」の“ゴキゲン”空間です。学生・生徒も交えた***WT(Working Team)***が考えデザインしました。ベンチに腰掛け、人工芝に寝そべっている様子が嬉しくてなりません。*For the students*をコンセプトに募った学園創立70周年記念事業募金を、この*Tama Square*の設置施工費の全額に充てました。大勢が集い、寛ぎ語り合って、「夢と志」が、ここで育つことを希（こいねが）います。建学の精神「感恩」の具現化です。

*Tama Square*オープン（H30.6.29）大勢の夢と志が

学園グッズ誕生（みんなで いいものに育てよう、作ろう *Yattemiyou!*）

いよいよ今秋から学園グッズ販売です。学園を身近に感じ、役に立って、ちょっと自慢したくなるグッズを作りたい。製作者は学生・生徒も交えた***WT***、“評判が悪かったら…”という不安・弱音に負けず果敢にチャレンジしてくれました。さあ、「初の学園グッズ（タオル、USB、おかき）」はいかが？ ***WT***に感謝の気持ちを込め、学園グッズを応援しましょう。色々な意見（コンナンガ アッタラ エエノニ）を寄せ、どんどんいいものを、みんな（自分たち）で育てて（創って）いきましょう。

学園グッズ *Tama*タオル
ぜひ使って！（親近感、実用）

こんなところ（ミンダナオ島 *(Philippine)*）に卒業生　怖いもの知らずもエネルギー！

どうして90万円、どうしてミンダナオ島？ 直球の質問を“藤岡篤司”という福科大の卒業生に投げかけました。彼の眼は輝き、日に焼けた体からはエネルギーが溢れていました。藤岡氏はミンダナオ島のサンロケ小学校に特別支援学級***(SPED)***を創るという話に賛同し、建築費の全額（90万円）を自分が集めるという志を立て、寄付金集めに奔走、全額達成を成し遂げました。教室も完成し、特別支援教育の開始です。日本では当たり前のことが、そうではない国での活動です。揺るがない彼の強い志（バクに喰われない）と“怖いもの知らず”が為せる業と言っても過言ではないでしょう。結果がどう（現在 順調）であれ、後悔はなく彼は成長するでしょう。私は彼を応援します。

SPED（ミンダナオ島に）の志　藤岡篤司氏（前列　座位）　H30.7.3

「学園 *Web* クラブ（まずは大・短 *Web* クラブから）」誕生　学生 大募集

藤岡氏のような卒業生の様々な活躍、そして本学園の学生・生徒・園児、教職員のユニークな活動、そんな学園をつくる大勢の多様なエネルギー（夢と志）、魅力をもっと知りたい、みんなで共有したい。それらを探し集めて、心に響く言葉・写真（イラスト）・動画などで“見える化”、編集して*Web*学園公式サイト（*Twitter*，*Instagram*等）として広く発信する。様々な“元気印”との出会いが、面白く勇気づけられ***“Waku-Waku”***する、素敵だと思いませんか。学生がサイト運営の主体、豊かな感性と創造・行動力でサイト制作に夢中になり、苦労もするが達成感も得て成長していく。キーワードは「人を幸せにする」（人を決して貶めない（不幸をネタにしない））、そして学園「公式」の誇りと責任です。学園の特別なクラブですから、サイト制作・運営に必要な経費は学園が負担します。さぁ、どうですか？　企画（創造）・取材・写真・イラスト・記事・動画作成・*IT*技術など大勢の多様な*“Yattemiyou”*大歓迎です。

理事長・学園長　**江 端 源 治**

学園キャンパス

法人本部　施設部　　筒井 佑一

1．誰もが集える「*Tama Square*（仮称）」（高校蜂の巣校舎跡地）

平成30年6月29日（金）、高校蜂の巣校舎跡地に「***Tama Square***（仮称）」が完成しました。名称は「***TamaSquare***」、愛称は「たまひろば」に決定しました。

「***Tama Square*** ～たまひろば～」は誰もが集える快適空間を目指し、円形の広場と学園本館1階食堂前テラスを整備しました。オープンしてからは幼稚園児が遊び、大学生、短大生、高校生がお喋りし、色々な年代が楽しいひと時を過ごしている姿を見かけます。

また、夜には木々がライトアップされ、昼間とは違った雰囲気のある、シンボリックな空間になります。

昼夜を問わず、「***Tama Square*** ～たまひろば～」は色々な使い方が出来ます。

皆さんも是非、一度足を運んでいただき、自分に合った使い方を見つけてください。

6/29 オープニングセレモニー

が大変身します

完成イメージパース

2. 大学生・短大生のための「新校舎」（短大２号館跡地）

短大2号館跡地には、大学・短大共用の新校舎を建設する予定です。

現在の案では、6階建て（延面積4950m²）を計画しています。新校舎には1Fに事務室、2F・3Fに自習室、4F～6Fに講義室を配置し、新しい学びの場としてたくさんの学生の皆さんに利用いただける事を期待しています。

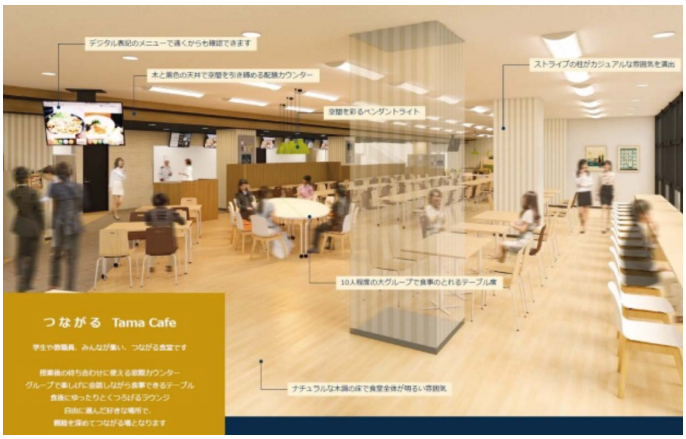
勾玉橋からも入りやすく、たくさんの工夫が詰まっている校舎です。平成32（2020）年1月からの供用開始の予定で進めています。この新校舎で多くの「知」の発見、共有、伝達を体感してください。

3. 食を楽しむ「学園本館食堂」（学園本館１階）

大学生・短大生・高校生・各校園保護者・教職員やご来園者にご利用いただいている学園本館1階の食堂が、平成31年4月にリニューアルオープンします。

各年代の皆さんが集い、憩い、寛げる食堂を目指してデザインを変更します。また、毎日の食を楽しめるようにメニュー等の見直し等も行う予定です。

どのような食堂になるか、***WT***を中心に検討を重ねていきます。様変わりする食堂を楽しみにお待ちください。



イメージ図

新連載

玉手山学園 青春グラフィティ

経営企画室　植田 陽

10人いれば10通りの学生生活があります。キャンパスではいつもはすれ違うだけの仲間の、十人十色な学生生活をちょっとのぞき見してみませんか。そんな（不純な?）動機から、今回より数回に亘ってクラブ活動を中心にそれぞれの学生生活を紹介していきたいと思います。以前広報で紹介いたしましたが、「感恩研究会」という新しい集まりがあります。建学の精神「感恩」を実感し、それを拡げていこうとする小さな同好会ですが、そんな活動が自然発生することも素晴らしいと思います。いろいろな環境で育って、縁あって本学園で一緒に学ぶことになった者どおしが化学反応を起こし、新たなものを生み出していくというのも学生時代でないとなかなか経験できないことではないでしょうか。

女子ハンドボール

男子ハンドボール

本企画は普段は会う機会の少ない理事長とお茶でもしながら、ざっくばらんにしゃべろうというものです。栄えあるトップバッターはハンドボール部です（生贄との噂も御座います）。宮崎大輔さんがイケメン・マッチョで有名ですが、日本ではまだまだマイナーなスポーツという感が否めません。しかし世界を見渡してみると実はそうでもないのです。これを機に、知識を深め、ハンドボールの魅力を発見してください。

坂本キャプテン　大和副キャプテン　山田副キャプテン

ハンドボールを始めたきっかけ

理事長） みなさんがどうしてハンドボールをクラブ活動として選んだか、とても興味あります。

坂本さん） 母親の影響が大きかったと思います。ハンドボールをやっていた母親に連れられてプロの試合を観戦したときに、人と人が接触する肉弾戦に衝撃を受け、幼心に「かっこいい!」と感じました。それからハンドボールに魅せられました。

大和さん） 私も姉のプレーを見たときに衝撃を受けました。チームワークは他のスポーツでも求められるとは思いますが、とりわけハンドボールではそれだけでなく、チームの雰囲気が大切だと感じました。それを自分自身でも味わってみたいと思いました。

岩本キャプテン

岩本くん） ハンドボールは幼少の頃からやっているので、理由を聞かれてもはっきりはわかりませんが、ダイナミックなシュートの凄さと、それが決まったときのカッコ良さに惹かれたのかも知れません。

池田副キャプテン

池田くん） やり始めたきっかけは10歳年上の兄の影響です。走って、跳んで、（シュートを）打つスピード感、躍動感がとても心地よさそうに感じました（実際にやってみてもそうでした）。

磯田くん） 高校に入学したとき、それまで続けていた野球をしようかと迷いました。そんなとき2年先輩の岩本キャプテンの迫力あるプレーを見る機会があり、ハンドボールをやろうと決めました。岩本キャプテンは高校時代に並み居る強豪を抑え、大阪府の頂点に立った憧れでもあります。今はハンドボールを選んで良かったと思います。日本代表に選ばれ、将来もハンドボールに関わっていきたいと思います。

ハンドボールの魅力

理事長） 私は学生時代クラブ活動（野球）では挫折を味わうことが多かったのですが、今ではいい経験として記憶に残っています。何度か試合を観戦しましたが、ハンドボールの魅力について聞いてみたいですね。

山田さん） ハンドボールは各プレーヤーが、それぞれの想いをぶつけることができるスポーツです。コートを自分色に染めることができます。コート上の7人のプレーヤーが、コートというキャンバスに自由に好きな芸術を表現できるのです。

池田くん） 走って・跳んで・打つ、というダイナミックな一連の動作から生まれる躍動感が魅力だと思います。シュートが決まったときにはさらに爽快です。

U21日本代表
磯田さん

ハンドボール部 関西学生連盟 女子1部リーグ 男子2部リーグ

他の学生や高校生へのメッセージ

進行役） 他の学生や、これから玉手山学園をめざす高校生に何かメッセージはありますか?

磯田くん） クラブ活動をやっていると人とのかかわりや、チームワークを実感しながら学生時代しか味わえない時間を過ごすことができることは素晴らしいことだと思います。

全員） 同感です。学生生活には期限があります。その貴重な時間を何かに打ち込めるのは素晴らしいことだと思います。今は部室に行けば友人や仲間がいるし、人とのつながりを実感できることで充実した生活が送れています。

理事長） 今日は皆さんからたくさん元気をもらったと感じました。いつか彼・彼女らを含めみなさんと*Tama Square*でバーベキューのような集まりができたらと思います。そのとき何を感じるか、学ぶかは人それぞれ、みんなで大いに飲んで食べてしゃべりたいですね。これからの人生に役に立つなにかを得ることができるのではと思います。

*Tama Square*にて

山﨑監督

このコラムを見て、クラブ活動に魅せられ、一緒にハンドボールで汗を流したいと思ってくれたらいいなぁ、と思います。迷っている人は私の研究室や体育館に気軽に相談に来てください。試合の応援や見学だけでなく、お茶だけを飲みに来ていただくだけでも大歓迎です。マネージャーも募集しています。

マネージャー募集中!

理事長所感 かっこいい、スゴイ 自分も!…が出発点

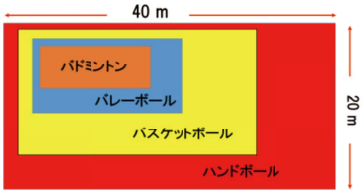
私の野球部(40数年前)もそうでした、でも“かっこ悪い”時の方が圧倒的に多かった。今回のハンドボール部の皆さんは、私より遥かに強く大きく長く、クラブ活動に“夢中になっています”。私は、そんな彼らを“カッコいい、頼もしい”と思い、本学の学生であることを誇りに思いました。でもかっこ悪い、情けない、恥ずかしいときもあったはず…それでも自分を成長させてくれる。それが何なのか?彼らが考えに考えて「言葉」にできれば、もっと成長できます。

2018.8.18
理事長・学園長　**江端 源治**

【豆知識 ーこれくらいは知っておきたい】

（主な出処：Wikipedia https://ja.wikipedia.org/wiki/ハンドボール）

ハンドボールの起源は古代ローマの女性がプレーしていたスポーツに由来すると言われ、その後北欧諸国によって整備されました。試合はコートプレーヤー6名とゴールキーパーの7対7で行われ前・後半それぞれ30分です。サッカーのシステム、バスケットの速さ、ラグビーの肉弾戦、野球のような1対1の勝負など、いろいろなスポーツの面白いところを持ち合わせています。ボールはバスケットボールを一回り小さくしたくらいです。GKのいる半径6mのゴールエリア空中でパスを受け、2×3mのゴールに向かってシュートするスカイプレーは迫力満点、醍醐味のひとつです。世界では欧州勢が強く、リオではロシア・フランス・ノルウェー、がベスト3、北京・ロンドンとノルウェーが連覇しています。東京2020にエントリーしているプレー国は204ヶ国とテニス(203ヶ国)やバドミントン(182ヶ国)より多く、日本でもプロリーグが発足すれば一挙に普及するのではと思います。一度観戦すれば、スカイプレーの迫力に魅了されることでしょう。



プレーコートのサイズ比較

【編集後記】今回はハンドボール部を紹介させていただきました。激しいスポーツをしているようには思えない温厚で、笑顔が絶えないステキな人たちでした。ぜひ彼、彼女らの試合の応援に行ってみてください。ハンドボールの醍醐味とともに面白さを実感、一瞬でファンになること請け合いです。

関女・福科大学 合同女子バレーボール部活動報告

～第53回全国私立短期大学総合体育大会出場（Aブロック・ベスト8）～

関女・福科大学女子バレーボール部　顧問　祖父江 鎮雄　監督　奥野 孝治

平成30年3月17日（土）、新入生を迎え、短大と四大合同のチーム編成による「関女・福科大学女子バレーボール部」の今年度の活動が始まりました。

4月15日（日）から2ヵ月間の「平成30年度関西大学バレーボール連盟春季リーグ戦」は、5勝1敗、準優勝で入れ替え戦に出場し、フルセットの末惜敗しました。

勝負の厳しさや、一点の重みを痛切に感じ、日々の生活の点検、授業及び各学科の学外・学内実習を行う中で、礼節を重んじ、練習に取り組む意識を見直し、日々の努力を継続し、上位リーグへの昇格を目標として活動しています。

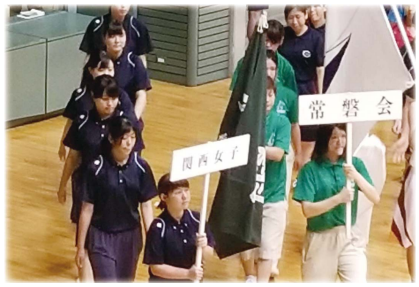
その中、短大生のみのチーム編成で、8月6日（月）～9日（木）、「第53回全国私立短期大学総合体育大会」に5年連続で参加させていただきました。定期試験勉強や試合直前まで学科の学外実習にも参加し、猛暑の中コンディションづくりに苦慮しながら大会に臨みました。

「第53回全国私立短期大学総合体育大会」は、日本私立短期大学協会主催、文部科学省・スポーツ庁・東京都後援の大会で、全国私立短期大学63校、約1、500名が参加しました。総合開会式は大会名誉総裁として高円宮妃殿下をお迎えし、駒沢オリンピック公園総合運動場体育館にて、各校の入場行進を皮切りに盛大に挙行されました。

本学の競技開始は2日目（墨田区総合体育館）からとなり、Aブロック・予選グループ戦を突破し、決勝トーナメント戦でもチームワークを発揮し、全国ベスト8に進出しました。

学生たちは一生懸命、最後まであきらめない精神で健闘し、プレーの姿、また会場でのマナーの良さなど、多くの関係者から好感を持っていただきました。全国大会出場経験と勝利の喜び、バレーボールを通じた友情等、人間的にもひと回り成長することができました。

大会出場のため、ご支援を賜りました学園関係者の皆様に心からの感謝を申し上げます。



「福祉の仕事学内合同説明会」開催

大学　社会福祉学科　三田村 知子

6月27日（水）、学園本館2Fにて「福祉の仕事学内合同説明会」を開催しました。

今回が初めての試みでしたが、高齢者施設、児童施設、障害者施設、医療機関、企業など30か所以上もの団体の皆様にお集まりいただきました。

話を聞きに来た本学学生は、社会福祉学部の学生に留まらず、他学部の学生の参加もあって、総計350名近くの来場となりました。

開始時刻（12：00～）が昼休みと重なったこともあり、会場は、あっという間に学生でいっぱいとなりました。各ブースは話を聞くための順番待ちで学生が列を成し、参加団体の皆様は休む間もなく、話を聞きにきた学生にそれぞれの仕事内容や各団体に就職している本学の卒業生から大変熱心にお話しいただきました。

参加した学生からは、「学内でこういった説明会をしてもらえるのはありがたい!」「思っていたよりもずっと一人一人に時間をとっていただいて、しっかり話を聞いてもらった」「就職について真剣に考えられる機会になっただけでなく、先輩の話も聞けて、より実感できた」と喜ぶ声が多数ありました。

今回、参加していただいた団体には本学卒業生と人事担当者とのペアでお越しいただいたこともあり、卒業生と在学生との絆がより一層深まったようです。一日を通して、たいへん活気にあふれた説明会となりました。

西日本7月豪雨に対する募金活動

大学・短大　学生支援センター　林 広人

社会福祉学科3年生の有志学生6名が、8月1日（水）から計4日間、平成30年7月の豪雨災害に対する募金活動を学内で行いました。

学生たちは「企画から携わり本当に良い経験、そして勉強させていただいた」と喜んでおりました。お預かりしておりました募金につきましては、日本赤十字社に送金させていただきました。ご協力いただき、本当にありがとうございました。

北海道修学旅行

高校　溝端 徳子

今年度から3泊4日の修学旅行の行先が北海道（道央・道東方面）へ、時期も11月から6月へと変更しました。

6月18日（月）の午前7時20分、大阪空港に2年生全員304名が集合しました。一人の遅刻者もなく、大変気持ちの良いスタートでした。ところが、出発待機中に大阪北部地震が起き、一時は修学旅行実施が危ぶまれる程でした。なんとか1時間遅れて出発することができ、後の行程もノーザンホースパークでの滞在時間を調整する形で、サホロリゾートホテルには予定通り到着することができました。

2日目は班別体験学習です。全員がラフティングをし、各班で搾乳、フィッシング、マウンテンバイク、カヌー、エアトリップの体験メニューから一つを選択しました。天候にも恵まれ、迫力あるラフティングに大興奮し、選択した体験に生徒たちは大変満足していました。

3日目はクラスごとに、釧路湿原コース、花畑牧場・帯広動物園コース、阿寒湖・秘境オンネトーコース、旭山動物園コースの中から一つ選択し研修しました。釧路湿原や阿寒湖では霧雨の中での観光となりましたが、野生動物にも出会い、豪華な昼食をいただき、生徒たちは笑顔でホテルに戻りました。

最終日は小樽での班別自主研修です。お土産を買ったり、昼食をとったりしながら約3時間、街を自由に散策しました。帰りの飛行機は千歳空港上空に雷雲が発生したため、またもや1時間、出発が遅れました。

ハプニング続きの修学旅行でしたが、生徒たちは今何をすべきかをそれぞれ自覚して行動できていたように思います。この修学旅行を通して、より一層成長できたのではないでしょうか。

理事長杯中学生バレーボール大会

高校　足立 匡

2日間予定されていた理事長杯中学生バレーボール大会は、降り続く大雨の関係で、7月7日（土）の試合は中止となってしまいました。8日（日）はなんとか実施することができ、午前中リーグ戦、午後から決勝トーナメントと1試合のセット数を少なくして行いました。

午前中は、全試合1セットマッチのため、その結果で勝敗が決まる緊張感の中、どのチームも必死に頑張っていました。

午後からは2セットマッチに変更し、決勝トーナメント・リーグ戦に分かれて試合を行いました。女子は接戦の末田原本北中学校が、男子は昨年惜しくも準優勝だった柏原中学校が、それぞれ見事優勝を果たしました。

みんな大喜び！キッズフェスタ

高校　中村 陽平

7月9日(月)、関西女子短期大学附属幼稚園の年中･年長クラス(235名)を招いて、総合体育館にて「キッズフェスタ」を開催しました。保育進学コース3学年全員で取り組むこの行事も今年で3回目となり、今年も例年以上に活気のあるものとなりました。3年生は「お店屋さんごっこ」、1･2年生は各種イベント(人が入れるシャボン玉、迷路、魚釣り、ボウリングなど)を実施し、どの学年も大変充実した内容でした。上級生を中心に手際よく準備を進め、余裕をもって園児たちを迎えることができたこと、また3学年の微笑ましい交流が見られたことが良かったと思います。元気に駆け回る園児たちの姿を見て生徒も喜び、笑顔あふれるキッズフェスタになりました。

日本拳法部全国大会三連覇達成

高校　山下 潤

8月4日(土)～5日(日)静岡県藤枝市にて開催された第63回全国高等学校日本拳法選手権大会で好成績を残しました。

1日目の団体競技の部では、前年度優勝で第1シード校として出場した男子が決勝戦で桜丘高等学校(愛知)を破り、2年連続3回目の優勝を果たしました。3月に開催された全国選抜大会でも優勝を収めていることから、全国大会3連覇中となりました。なお、最優秀選手には冨永一希(3年)が選ばれました。女子は残念ながら準決勝戦で藤ノ花女子高等学校(愛知)に敗れ、3年連続第3位の結果となりましたが、優秀選手には彦坂りさ(3年)が選ばれました。

2日目の個人競技の部では、予選を勝ち抜いてきた男子7名･女子6名が出場しました。男子は冨永一希(3年)が前年度に続いて優勝し、選抜大会での優勝を含め、個人でも3連覇の偉業を成し遂げました。主将の木村柊也(3年)は準決勝戦で冨永との同門対決に敗れ、第3位となりました。また、野村龍星(2年)は第5位に入賞しました。一方、女子は有段者3名の活躍が期待されていましたが、主将の彦坂りさ(3年)が第5位に入賞するに留まりました。

これまで、部員24名は心を一つにして厳しい練習を重ねてきました。優勝決定後の校歌斉唱では多くの部員が涙し、喜びを分かち合いました。いつも応援に駆け付けてくださる保護者の方々、温かく見守ってくださっている先生方、その他たくさんの関係の方々に感謝の気持ちを伝えたいです。

さて、選手権大会以降、新チームは始動しており、第73回大阪高等学校総合体育大会団体戦では男子が優勝、女子が第3位という結果を収め、個人の部においても男子が優勝･準優勝･第5位、女子が準優勝と幸先の良いスタートを切りました。これまで積み上げた日本拳法部の伝統を守るべく、また、新たな歴史を刻めるよう精進し、今後もさらに高みを目指して活動して参ります。

ダンスバトン部 ゲリラライブ

高校　一瀬 美恵子

6月13日(水)昼休み、昨年に引き続き、高校1号館前にてダンスバトン部員2･3年生13名によるゲリラライブを行いました。多くの生徒や教職員に声援をもらい、生徒たちは楽しんで踊ることができました。

キャンプだホイ!!

幼稚園　杉岡 朋

「お布団届きました～!」「は～い!!」

7月20日(金)、21日(土)に園内キャンプが行われました。年中児の赤組は夏祭りに参加、年長児の青組はお泊まりをします。セミの声が響き渡る中、職員たちでバケツリレー並みの速さで、広い遊戯室にどんどん運び込まれていく布団たち…!今晩、113名の子どもたちが、この布団で眠ります。どんな夢を見るのかな?とニヤニヤしながら、シーツが手際よく掛けられていきます。青組の子どもたちにとっては、待ちに待ったお泊まりの日です。この日が近づくにつれて、「なんで青組だけ泊まれるん?」と、自信たっぷりに質問してきていました。私たち職員も、お泊まりや、夏祭りの準備をコツコツと進め、子どもたちの笑顔を想像しながら、この日を待っていました。いよいよ、夏祭り・キャンプのスタートです!!いつもと違う時間に登園してくる子どもたち。恥ずかしそうに「こんにちは」と、挨拶をしてくれます。何が起こるのかと、ワクワクする気持ちを隠し切れません!!金魚すくいにヨーヨー釣りと、ドキドキの迷路や記念講堂でのおたのしみショーなど、もりだくさんのアトラクションに、「めっちゃ、忙しいやん!!」とニコニコ笑顔の子どもたち。汗だくになりながら、目をキラキラさせて楽しんでいました。その後、美味しい夕食を食べ、キャンプファイヤーと盆踊りが始まりました。花火がドーン!とあがり、気分は最高潮!!!夏の思い出をたくさんつくり、自分のことを自分でできた自信をもてたキャンプになったのではないでしょうか。二日目の朝のお迎えの、保護者の方の心配そうな表情とは逆に、自信満々の笑顔で「ただいま～」の大きな声が、印象的でした。

今日の給食なあに！

幼稚園　稲垣 晃子

「今日は何の匂い?」「カレーかなあ…」「おなかすいたね」

毎日の給食室からのいいにおいが、園児の会話のきっかけになり、食への関心を高めています。また、四月は好き嫌いをしていた子どもたちも、今では「野菜一口食べてみる」「このお魚大好き」「スープおかわりする」と、日に日に食べる量が増えてきました。

一学期は、竹の子の皮剥き・とうもろこしの皮剥き・うすいえんどうの豆取り・枝豆のさや取りを、年長から年少まで各学年が順番に体験しました。「竹の子痩せちゃった」「皮に毛がはえてる」「とうもろこしのおひげベタベタ」など、食材を触ってみて、初めての気づきがいっぱいあったようです。自分たちが準備を手伝った食材が、次の日の給食に出ているのを見て、みんなは大喜び。いつもよりたくさん食べていました。

給食の時間が、お箸の正しい使い方や配膳の仕方、食事のマナーを身につけることへ繋がっていきます。二学期も楽しい食育イベントを企画しています。たくさんご飯を食べて、毎日元気に過ごしてほしいです。

歯みがきじょうずにできるかな？

幼稚園　福家 美代子

年長児は、短大7号館の歯科検診室に受診に行きました。「倒れる椅子に座って、診てもらおうね。」「注射もしないし、痛くもないし、診るだけなんだよ。」と、前日に話をしたところ、ちょっと顔が強ばってしまった子どもたち。

でも当日には「痛くしない?」「見るだけ?」と、短大のお姉さんに問いかけたり、先生に直接聞いたりしていました。話を聞くと、少し安心した表情になり、自分の順番になるとしっかりした声で名前をきちんと伝え、カバに負けないように大きく口を開けていました。たくさんのお姉さんに囲まれて安心し、フッ素塗布も受け、騒がず約束を守る姿が見られました。お姉さんとむし歯にならないための約束をしたり、お姉さんから歯みがきの大切さを聞き、「上手にできたね。」と誉めていただきました。みんな、満足感いっぱいの表情を見せてくれました。

受診結果と歯の写真は、各家庭に配付しました。歯みがきの大切さやむし歯予防について、子どもたちは、きっと家庭でも話をしてくれたのではないかと思います。

平成29年度決算概要

資金収支計算書 平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

（単位：千円）

収入の部		支出の部	
科目	決算	科目	決算
学生生徒等納付金収入	4,466,468	人件費支出	3,484,327
手数料収入	62,917	教育研究経費支出	1,400,711
寄付金収入	19,923	管理経費支出	501,188
補助金収入	1,274,236	借入金等利息支出	0
資産売却収入	2,485	借入金等返済支出	0
付随事業・収益事業収入	89,143	施設関係支出	251,720
受取利息・配当金収入	16,797	設備関係支出	111,130
雑収入	127,700	資産運用支出	129,760
借入金等収入	0	その他の支出	251,348
前受金収入	760,667	資金支出調整勘定	△285,114
その他の収入	569,718	次年度繰越支払資金	2,954,538
資金収入調整勘定	△1,043,295		
前年度繰越支払資金	2,452,849		
収入の部合計	8,799,608	支出の部合計	8,799,608

事業活動収支計算書 平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

（単位：千円）

		科目	決算
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	4,466,468
		手数料	62,917
		寄付金	22,369
		経常費等補助金	1,180,041
		付随事業収入	89,143
		雑収入	127,305
		教育活動収入計	5,948,243
	事業活動支出の部	人件費	3,494,593
		教育研究経費	1,975,051
		管理経費	547,069
		徴収不能額等	0
		教育活動支出計	6,016,713
		教育活動収支差額	△68,470
教育活動外収支		科目	決算
	事業活動収入の部	受取利息・配当金	16,797
		教育活動外収入計	16,797
	事業活動支出の部	その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出計	0
		教育活動外収支差額	16,797
		経常収支差額	△51,673
特別収支		科目	決算
	事業活動収入の部	資産売却差額	2,485
		その他の特別収入	103,639
		特別収入計	106,124
	事業活動支出の部	資産処分差額	113,467
		その他の特別支出	1,791
		特別支出計	115,258
		特別収支差額	△9,134
基本金組入前当年度収支差額			△60,807
基本金組入額合計			△77,954
当年度収支差額			△138,761
前年度繰越収支差額			△2,723,046
基本金取崩額			98,598
翌年度繰越収支差額			△2,763,209
（参考）			
事業活動収入計			6,071,164
事業活動支出計			6,131,971

※平成29年度計算書類、平成30年度予算書の詳細については、
玉手山学園ホームページ
http://www.houjin.fuksi-kagk-u.ac.jp/に掲出しています。

【資金収支計算書】

学生生徒等納付金収入は、主として大学・新設学部の学年進行により法人全体の学生・生徒数が前年度と比べて増加し、予算比20百万円増加、前年度比107百万円増加の4,466百万円となりました。

手数料収入は、入学検定料収入が減少したため、予算比14百万円減少、前年度比18百万円減少の63百万円となりました。

寄付金収入は、予算比20百万円増加、前年度比12百万円増加の20百万円となりました。

補助金収入は、予算比では143百万円増加したものの、前年度において高校新校舎建築工事に係る補助金収入があったため、前年度比365百万円減少の1,274百万円となりました。

付随事業・収益事業収入は、予算比11百万円増加、前年度比1百万円減少の89百万円となりました。

受取利息・配当金収入は、預金金利の低下のため、予算比では2百万円増加したものの、前年度比7百万円減少の17百万円となりました。

雑収入は、予算比では19百万円増加したものの、前年度よりも私立大学退職金財団からの交付金収入が減少したため、前年度比8百万円減少の128百万円となりました。

前受金収入は、奨学金支給対象者が想定以上に多かったため、予算比167百万円減少、前年度比76百万円減少の761百万円となりました。

その他の収入は、前年度における高校新校舎建築に係る補助金の未収入金が入金されたため、予算比1百万円増加、前年度比394百万円増加の570百万円となりました。

その結果、収入の部合計は、予算比82百万円減少、前年度比953百万円減少の8,800百万円となりました。

人件費支出は、大学・新設学部の学年進行に伴う教員増による人件費増の影響と、勤続年数が比較的長い教職員の退職が多かったため、予算比では57百万円減少したものの、前年度比は63百万円増加の3,484百万円となりました。

教育研究経費支出は、高校1号館改修工事に伴う修繕費や短大2号館及び蜂の巣校舎の解体工事に係る費用があり、また報酬委託手数料等が増加したため、予算比15百万円増加、前年度比320百万円増加の1,401百万円となりました。

管理経費支出は、大学開学20周年及び高校新校舎竣工記念事業があり、またその他の経費が増加したため、予算比13百万円増加、前年度比6百万円増加の501百万円となりました。

施設関係支出は、高校1号館改修工事に係る支出があったものの、予算比では62百万円減少しました。また、前年度に高校本館建築工事に係る支出があったため、前年度比でも1,641百万円減少の252百万円となりました。

設備関係支出は、大学本館の空調機や高校1号館改修に係る備品の購入があったものの、予算比で14百万円減少しました。また、前年度に高校本館建築に係る備品購入等の支出があったため、前年度比でも89百万円減少の111百万円となりました。

資産運用支出は、退職給与引当特定資産繰入支出29百万円、収益事業元入金支出30百万円、減価償却引当特定資産への繰入71百万円の合計額であり、退職給与引当金の増加に伴い退職給与引当特定資産繰入支出が増加したため、予算比では29百万円増加しました。一方、前年度比では74百万円減少の130百万円となりました。

上記の結果、翌年度繰越支払資金は予算比130百万円増加、前年度比502百万円増加の2,955百万円となりました。

【事業活動収支計算書】

（教育活動収支）

教育活動収入は、学生生徒納付金等の増加により予算比139百万円増加、前年度比84百万円増加の5,948百万円となりました。

教育活動支出は、予算比では4百万円減少したものの、人件費、教育研究経費、管理経費が前年度より増加したため、前年度比は398百万円増加の6,017百万円となりました。

その結果、教育活動収支差額は予算比144百万円増加、前年度比313百万円減少の△68百万円となりました。

（教育活動外収支）

教育活動外収支は、予算比では2百万円増加したものの、受取利息・配当金の減少により、前年度比は7百万円減少の17百万円となりました。

その結果、教育活動外収支差額は予算比2百万円増加、前年度比7百万円減少の17百万円となり、経常収支差額は、予算比145百万円増加、前年度比321百万円減少の△52百万円となりました。

（特別収支）

特別収入は、車両売却差額及び現物寄付等を計上したため、予算比は72百万円増加しました。一方、施設設備補助金が減少したため、前年度比は361百万円減少の106百万円となりました。

特別支出は、図書除却差額を計上したため、また、短大2号館及び蜂の巣校舎の解体撤去に伴い、建物処分差額等が発生したことにより、予算比22百万円増加、前年度比51百万円増加の115百万円となりました。

その結果、特別収支差額は、予算比50百万円増加、前年度比412百万円減少の△9百万円となりました。

（当年度収支差額等）

基本金組入前当年度収支差額は、前年度よりも学生生徒等納付金が増加したものの、施設設備補助金が減少し、高校1号館の改修に伴う修繕費や短大2号館及び蜂の巣校舎の解体に伴う資産処分差額を計上したことなどにより、予算比215百万円増加、前年度比733百万円減少の△61百万円となりました。

基本金組入額合計は、高校1号館改修工事に係る第1号基本金への組入125百万円、除却した蜂の巣校舎に係る第1号基本金の減少132百万円などがあり、予算比240百万円減少、前年度比1,396百万円減少の78百万円となりました。

その結果、当年度収支差額は予算比455百万円増加、前年度比663百万円増加の△139百万円となりました。また、基本金取崩額99百万円があり、翌年度繰越収支差額は予算比489百万円増加、前年度比40百万円減少の△2,763百万円となりました。

貸借対照表 平成30年3月31日

（単位：千円）

資産の部		負債の部	
科　目	本年度末	科　目	本年度末
固定資産	20,709,653	固定負債	708,368
有形固定資産	14,141,771	退職給与引当金	708,368
特定資産	5,962,240	流動負債	1,400,765
その他の固定資産	605,642	前受金	760,667
流動資産	3,173,690	その他	640,098
現金預金	2,954,538	負債の部合計	2,109,133
その他	219,152		
		純資産の部	
		科　目	本年度末
		基本金	24,537,419
		第1号基本金	23,771,419
		第2号基本金	400,000
		第4号基本金	366,000
		繰越収支差額	△2,763,209
		翌年度繰越収支差額	△2,763,209
		純資産の部合計	21,774,210
資産の部合計	23,883,343	負債及び純資産の部合計	23,883,343

【貸借対照表】

資産の部において、有形固定資産は、短大2号館及び蜂の巣校舎の解体による建物、構築物の減少などにより、前年度末比360百万円減少の14,142百万円となりました。

特定資産は、退職給与引当特定資産が29百万円、減価償却引当特定資産が71百万円増加したことにより、前年度末比100百万円増加の5,962百万円となりました。

その他の固定資産は、収益事業元入金の増加等により、前年度末比30百万円増加の606百万円となり、固定資産合計では前年度末比231百万円減少の20,710百万円となりました。

流動資産は、主として現金預金が増加したため、前年度末比143百万円増加の3,174百万円となりました。

その結果、資産の部合計は前年度末比90百万円減少の23,883百万円となりました。

負債の部においては、退職給与引当金及び未払金は増加したものの、主として前受金が減少したため、負債の部合計は前年度末比29百万円減少の総額2,109百万円となりました。

純資産の部において、基本金は、蜂の巣校舎の除却等により、第1号基本金が減少したため、前年度末比21百万円減少の24,537百万円となりました。

繰越収支差額（翌年度繰越収支差額）は、事業活動収支計算書の当年度収支差額等で述べたように、前年度末比40百万円減少の△2,763百万円となりました。

その結果、純資産の部合計は前年度末比61百万円減少の21,774百万円となりました。

平　成　30　年　度　予　算　概　要

資金収支予算書 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

（単位：千円）

収入の部		支出の部	
科　目	予　算	科　目	予　算
学生生徒等納付金収入	4,396,734	人件費支出	3,543,775
手数料収入	48,819	教育研究経費支出	1,255,097
寄付金収入	0	管理経費支出	486,665
補助金収入	1,105,756	借入金等利息支出	0
資産売却収入	0	借入金等返済支出	0
付随事業・収益事業収入	89,133	施設関係支出	917,995
受取利息・配当金収入	17,000	設備関係支出	115,687
雑収入	115,969	資産運用支出	230,670
借入金等収入	0	その他の支出	287,826
前受金収入	925,679	［予備費］	20,000
その他の収入	606,312	資金支出調整勘定	△165,417
資金収入調整勘定	△858,456	翌年度繰越支払資金	2,709,186
前年度繰越支払資金	2,954,538		
収入の部合計	9,401,484	支出の部合計	9,401,484

【資金収支予算書】

平成30年度予算は、施設や設備など投資に係る支出が大きいことにより、収支の均衡を欠く予算編成となりました。

資金収入は、学生生徒等の減少により学納金も減少しましたが、学園新校舎に伴う第2号基本金引当特定資産取崩収入が大きく、前年度比18百万円増の6,447百万円となりました。

資金支出は、学園新校舎建設や幼稚園から認定こども園への移行など、積極的な投資を含んだものとなり、前年度比800百万円増の6,692百万円となりました。

その結果、資金収支差額が△245百万円となり、次年度繰越資金が減少する予算編成となりました。

事業活動収支予算書 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

（単位：千円）

		科　目	予　算
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	4,396,734
		手数料	48,819
		寄付金	0
		経常費等補助金	1,105,756
		付随事業収入	89,133
		雑収入	115,969
		教育活動収入計	5,756,411
	事業活動支出の部	人件費	3,531,116
		教育研究経費	1,815,907
		管理経費	528,270
		教育活動支出計	5,875,293
		教育活動収支差額	△118,882
教育活動外収支		科　目	予　算
	事業活動収入の部	受取利息・配当金	17,000
		教育活動外収入計	17,000
	事業活動支出の部	その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出計	0
		教育活動外収支差額	17,000
		経常収支差額	△101,882
特別収支		科　目	予　算
	事業活動収入の部	資産売却差額	0
		その他の特別収入	0
		特別収入計	0
	事業活動支出の部	資産処分差額	0
		その他の特別支出	4,330
		特別支出計	4,330
		特別収支差額	△4,330
［予備費］			20,000
基本金組入前当年度収支差額			△126,212
基本金組入額合計			△877,492
当年度収支差額			△1,003,704
前年度繰越収支差額			△2,763,209
基本金取崩額			243,810
翌年度繰越収支差額			△3,523,103
（参考）			
事業活動収入計			5,773,411
事業活動支出計			5,899,623

【事業活動収支予算書】

事業活動収支においても資金収支と同様の要因により、事業活動収入は、学生生徒等の減少により学納金も減少し、前年度比85百万円減の5,773百万円となりました。

事業活動支出は、前年度において旧校舎解体に係る多額の教育研究経費があったため、前年度比235百万円減の5,899百万円となりました。

基本金組入額は、学園新校舎や認定こども園新園舎の建設等があるため、前年度比316百万円増の634百万円となりました。

その結果、基本金組入前当年度収支差額は前年度比150百万円増で△126百万円、基本金組入後の当年度収支差額は前年度比166百万円減で△760百万円となり、翌年度繰越収支差額が減少する予算編成となりました。

法人本部 財務部

期待いっぱい新棟建設

幼稚園　岡本 秀美

幼稚園では、認定こども園として、今年度4月から2号認定児(3歳～5歳)の受入れが始まりました。また、平成31年4月から、3号認定児(0歳～2歳児)の受入れが始まります。8月から新棟建設の工事が進められていますが、そこに至るまでには、関係者の方と私共で様々な提案や意見を交わし、検討してきました。現在の幼稚園のように大きい建物ではありませんが、子どもたちにとって、過ごしやすい環境で、楽しめるような場所になる新棟の完成を期待しています。

乳児の受入れにあたり、昨年度、夏休み期間の業務や研修などに支障のない時間を使い、当園教員も交代で保育園へ体験実習に従事させていただきました。学生時代、初めて体験した緊張感を思い出しながら、改めて保育の細かな配慮の必要性を実感することができました。

来年度の園庭には、小さな子どもたちが所狭しと駆け回るなか、年長の園児たちが優しく、一緒に遊ぶ姿など、今までとは違った光景を目にすることができると楽しみにしています。

完成予想図

福科大・関女Webクラブ(仮称) クラブ員緊急募集!!

大学・短大　広報室　辻村 匡志

この度、関西福祉科学大学、関西女子短期大学に玉手山学園の公式クラブとして、「Webクラブ(仮称)」を開設することになりました。

この「Webクラブ」は、本学ホームページ内にクラブ専用の「Twitter」「Instagram」を開設し、皆さんの「魅力」や皆さんの「学生生活」について、多くの方(全世界の方)に発信していくものです。

そのため、クラブ員を緊急募集しています!「やってみたい」「ちょっと興味があるかな?」と感じていただいた学生の皆さんは、一度、広報室(大学本館2階)辻村・阪田宛にお越しください!

クラブ活動の概要を聞いていただき「やる・やらない」を決定していただいてOK、もちろん話を聞くだけでもOKです。写真に興味のある方、動画に興味のある方(OZMO(オズモ)などの機材もありますよ)、イラストに興味のある方(Adobe Creative Cloud使えますよ)、コピーライターに興味ある方、SNS全般に興味のある方、なんとなく興味のある方など、皆さん歓迎いたしますので、是非、みんなで楽しくやっていきましょう!!

学園広報編集委員会

委員長　湯川 雅紀(大学教育学部)
委　員　横山 学　(大学事務局)
辻村 匡志(大学事務局)
松村 奈美(高等学校)
村井 恵　(幼稚園)
植田 陽　(法人本部)
與原 真弓(法人本部)
松井 愛(法人本部)